



仲間の心に温かい
風を吹かせよう! R4.3.10(木)

3学年だより

～春風～

国見町立
県北中学校
第43号

『感動』。『感謝』。『夢』。 『希望』を伝える卒業式!



3月11日(金)、
第72回卒業証書授与式が
挙行されます。

2年前は、在校生、吹奏楽部の演奏もなく、CDから流れ出る音楽に乗せての入退場。飾りつけ・式場準備は先生方で行いました。昨年は在校生は教室でリモートでの参加となりました。そして今年。全てが例年通りとはいきませんが、それに近い形で卒業証書授与式が行われること、有難く思います。

卒業生74名の皆さんが県北中学校の新しい卒業式の形を創る時です。在校生は皆さんの姿を見て、「これが県北中学校の卒業式か」と感じます。そして皆さんが創り上げた卒業式を伝統として受け継いでいくのです。

卒業式の主役である卒業生の心構えで、姿勢で、何よりも思いでその舞台は成功も失敗もします。やり直しはありません。3年間、その時、その時に全力で取り組むことをやってきた皆さんです。最後の舞台、楽しみにしています。

保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。また3年間、本校の教育活動へのご理解・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、制限のかかった生活を送ってきました。しかし、今年度は修学旅行を始め、合唱コンクール、柏葉祭等できる対策を行い、実施できたことひとえに保護者の皆さまのご理解のお陰と心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

これから先は、それぞれが自分の選んだ道を歩いていきます。失敗を恐れずに、ひたむきに突き進んでください。

3学年主任 今村恵美子



先生方からのメッセージ



阿部先生

ご卒業おめでとうございます。昨年4月に会ってから、駆け抜けるような1年でした。その1年には皆さんとの数えきれない思い出がたくさん詰まっています。本当にありがとうございました。74名の卒業生に幸あれ。

野地先生

ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごしたこの1年間は私の宝物です。素敵な時間をありがとう。人生は一度きり。ぜひ様々なことにチャレンジして、自分の可能性を広げていってください。これからも応援しています。

西郡先生

ご卒業おめでとうございます。皆さんは先生たちが驚くほど大きく、頼もしく成長しました。これからは新しい環境で夢を叶える努力をしながらの生活です。人を大切にできる人は必ず好循環を生み出します。出会った人を大切にしてください。皆さんの夢が叶うことを願っています。

安藤先生

ご卒業おめでとうございます。皆さんと会う機会は主に授業でしたね。一生懸命制作する姿、うれしかったです。新しい一歩を踏み出す皆さん。自分を大切に、周りの人を大切に。良い出会いが待っています。一歩ずつ自分らしく歩いていってください。

佐々木先生

ご卒業おめでとうございます。これから今よりも大きな世界に飛び出していく皆さんは、さまざまな人やものに出会うことでしょう。どうか考えることをやめず、自分の意見を常に持ち続けてほしいと思います。皆さんのこれからに幸多からんことを。

同窓会入会式を行いました。

同窓会長の八島博正様をお迎えして、これから歩む人生へのはなむけの言葉をいただきました。同窓会より”卒業証書ホルダー”を代表として菊田悠斗くんがいただきました。



誓いの言葉
赤井畑有美さん



県立高校の合格発表について

- 福島県立高校前期試験 3月14日(月)
12時以降 各高校において発表
HPでも閲覧可能(12:30~17:00)
<https://sites.google.com/fcs.ed.jp/goukakushaichirantop>
- 宮城県高校一次試験 3月16日(水)
15時以降 各高校において

【新型コロナウイルス感染症対応に伴う合格発表について】

- 「感染者・症状のある濃厚接触者」
→合格者発表、合格通知書交付、簡易開示は×
- 「無症状の濃厚接触者」→別室で合格通知書の交付、簡易開示
保護者が中学校を通して高校へ連絡し、高校からの指示を受けることになっています。

【高校のオリエンテーションについて】

- 入学する高校のオリエンテーション(説明会等)の日程を確認の上、中学校の制服を着用し、必ず出席してください。無断欠席の場合は、入学の意志がないものと見なされます。体調不良等で参加できない場合には、保護者から直接高校に連絡してください。

* 詳細は、進路通信「画竜点睛」をお読みください。

【卒業式当日の日程】

- 8:30~8:40 登校
あまり早い時間に登校しないでください。
- 8:40~ 出席確認・短学活・写真撮影・胸花つけ・式歌練習等
- 9:10~ 入場準備(手洗い・服装確認)
- 9:15~ 整列・式場への移動
- 9:25~ 入場
- 9:30~ 卒業証書授与式
- 10:25~卒業生最後の学活
- 11:00~卒業生見送り

*見送りの時は、感染症予防のため、ボディークontaktはしない。

*卒業式後の見送り時には、プレゼントや手紙のやり取りはしない。

持参物:背負いかばん・上履き入れ

*カメラは、持参しない。写真を取る場合は、見送り後保護者持参のもので行う。

離任式について

- 3月29日(火) 離任式
- 3年生は、学校体育館へまっすぐ入場します。
- 服装:中学校の制服
携帯は持参しない。

離任式後は体育館内での見送りになります。その後、速やかに下校してください。

3月11日、 東日本大震災。忘れることが できない1日。

11年前の、3月11日、午後2時46分、東日本を大きな揺れが襲いました。東日本大震災が起きた時です。あれから、11年が経ちます。今年も11年前と同じ卒業式の日です。

11年前、午前中仲間との別れを惜しみながらそれぞれが帰路に向い、自宅でほっと一息ついている頃でした。14日の合格発表を気にしながらも、春休みになったら仲間とどこに遊びに行こうか、高校入学の準備はいつするかなどこれからの生活に胸を踊らせていたはずでした。

まさか、あのような甚大な被害を及ぼす地震が、この東日本に起ころうと誰が予想していたのでしょうか？

昨年全校生徒で見学に行った、伝承館では津波で流されたパトカーを見て、ショックのあまり涙した生徒もいました。また、双葉町の様子に言葉を失いました。

3年生の皆さんは、自宅にいたり、幼稚園にいたり、1人ではなかったはずでした。あの時の大きな揺れは未だかつてないすさまじいものでした。いったい何が起こったのか、この揺れは収まるのか・・・

揺れが収まったあと、テレビの画面に映し出された映像は、本当に日本で起きていることなのかと愕然とした記憶があります。

津波で多くの命が奪われました。福島県は、原発事故が発生し、多くの方が自分の慣れ親しんだふるさとを離れ、新しい土地で、新しい生活を余儀なくされました。

電気・ガス・水道が止まり、今まで当たり前と思っていたものが、なくなる不自由さ。いかに当たり前の生活が有難いものかを感じさせられました。

その後、外での活動が制限され、学校生活が始まってもいつもの日常は戻ってきませんでした。

修学旅行が夏になり、中体連はいきなり地区大会になり、限られた施設をみんなで使い、中体連に備えたことを思い出します。

小学6年生は、卒業式ができずいきなり中学生に。1つ1つの行事も削減され、この先いったいどうなるのか、先の見えない新年度をスタートさせました。

震災当日、東京では多くの帰宅難民者が出ました。多くの方が、黙々とただただ自宅を目指して歩いて帰りました。道路沿いにあるトヨタの販売店では、トイレの開放や無料の休憩所を

開設したところもありました。また、無料のパン・お茶などを提供した病院もあったそうです。さらには、道路沿いの自宅からおじさんやおばさんが出てきて「休んでいきなさい」と声をかけ、手招きしてくれた人も。不安で仕方がなかった徒歩での帰宅者は、人の温かさが心にしみたそうです。

また、数年前の大雪で、幹線道路が大渋滞を起こした際、避難している飯館村のお母さん方が、立往生している運転手さんのために「おにぎりをたくさん作って配って歩いたそうです。受け取った運転手さんの中には、「命のおにぎりだ」と言って、涙を流しながら食べた人もいたそうです。しなければいけなかったのではありません。そうしないではいられなかったのです。私たちにはそういう人間性、国民性がいつの間にか宿っているのです。

昨年の台風19号は、東北地方にも大きな被害をもたらしました。東日本大震災に続いて、二回目という方も多かったやに聞いています。

そんな状況の中で、日本全国からボランティアとして多くの方々が被災地に足を運んでくれました。

広島からきた女性の方は、金曜日の夕方に飛行機で仙台に入り、2泊3日ボランティア活動をしてくれました。広島県で起きた台風の被害の時、全国各地から多くのボランティアの方々が足を運んでくださり、作業を行ってくれたそうです。その時どれだけ助けられたか。感謝の気持ちでいっぱいだったと。今度は自分の番。その時に受けた恩をお返しする時と思い、参加したそうです。

またある男性の方は、福岡から電車を乗り継いで、ボランティアをしながら新潟や栃木を回り、最後は白石にきたそうです。途中で、軽トラックが必要という情報をキャッチし、中古の軽トラックを購入して、来てくれました。

人と人とのつながり、お互いさまという思い、大切にしたい思いです。

3月11日。特別な忘れることができない1日です。人とのつながりの大切さ、自分に今何ができるのかを考え、行動する決断力、そして日常の当たり前に感謝する心を再度確認してみたいかがでしょうか。

黙とうを捧げながら、心のどこかに記憶を忘れずに残し、前を向いて歩いていこうと思います。

3学年主任 今村恵美子

